SPORTS スポーツ

南日本こども新聞

南国から夢は全国

小林 碧さん 鹿児島市・喜入小6年

スキー九州大会 強さ見せ連覇

鹿児島市の喜入小6年、小林碧さんがスキーで活躍を続けています。全九州ジュニア選手権（1月27日・大分県）で総合2連覇を果たし、「中学でも競技を続け全国総体、国体など全国大会に出場したい」と話します。

大会は、雪山のコースを滑り降りタイムを競うアルペン競技の一つ「大回転」で行われました。小林さんは高学年（6年生以下）クラスを制し、総合（全出場者）でも2位以下を5秒近く引き離す圧倒的な強さでした。

小林さんの記録36秒65は、男子総合と比べても1位に0秒38差で2位に当てはまる好記録。同じ日に同じコースであった大分県選手権（中学以上の一般選手が参加）女子の優勝記録より2秒近く速いタイムでした。

父哉さん(43)の影響で4歳からスキーを始めました。鹿児島でスキーはできません。大分や宮崎のスキー場で腕を磨くほか、鹿児島県スキー連盟などが主催する合宿に参加したり、大会に出場したり。スキー好きの祖父がいる長野県で練習するなどシーズン中は月2度の割合で、泊まりがけで練習に励みます。夏場は人工芝で滑ります。

全九州ジュニア選手権は1年生と出場しなかった4年生の時を除いてすべて優勝しています。県スキー連盟でジュニア育成・強化を担当する加塩英生さん(49)は「飲み込みが早い。スキーを滑らせる技術は天性のものがある」と評価します。

母真裕美さん(42)も含めスキー一家。今回の選手権では喜入小1年の弟藍さんがデビューを果たしました。藍さんは「お姉ちゃんの滑りはすごいし、楽しそう。目標はお姉ちゃん」と話しています。

碧さんはヨットや水泳もしていましたが、中学からはスキーに絞って取り組む予定です。南国から冬季スポーツに挑戦する碧さんは「全国大会に出るだけでなく、少しでも上に行けるように頑張りたい」と夢を語ります。

（有馬知洋）

◇

鹿児島県スキー連盟はスキーに関心のあるジュニアの練習会などへの参加を歓迎しています。加塩さん＝090（1196）1969

全九州ジュニアスキー選手権で総合連覇を果たした小林碧さん（左）と男子低学年クラス4位になった藍さん

女子総合1位に輝いた小林碧さんの力強い滑り